

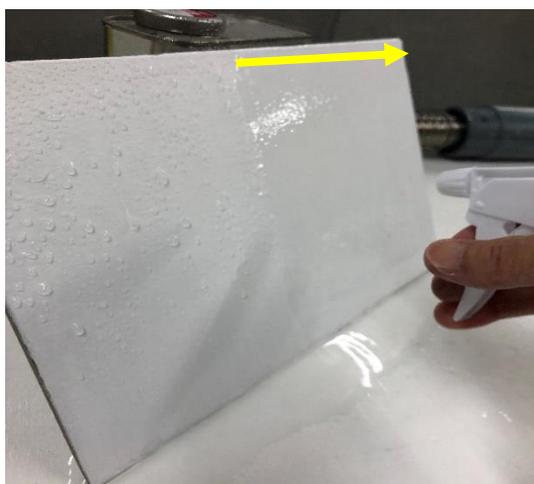
## 光触媒セルフクリーニング機能のご注意点

既述のように光触媒のセルフクリーニング機能は親水性に依存していますので、親油性汚染物質に対する防汚機能だけを指しています。

無責任な光触媒業者の誇大広告でオールマイティのような印象を与えてしまっていますが、厳然たる事実です。

従いまして曝露用パネルの初期の必須チェック事項としては

「光触媒塗装面のみが高い親水性になっていることを確認」してください。



**矢印の右半分が光触媒施工面です。霧吹きで水を吹きかけると水の膜が広がって良好な親水性が確認できるのが、本来の光触媒の特長です。**

セルフクリーニング効果は厳密に親水性に比例しますので初期にこの現象が確認できれば現実の曝露では良好な結果が得られ、また曝露試験はかならず成功します。逆に、うまくいかない場合は塗装面、非塗装面の親水性を再度ご確認くださいませんでしょうか。尚、当社品の場合はこの親水性以外に「キラキラ金属粉成分のルーペ確認」という手法も使えます。

施工上の問題点以外にオールマイティではないことに起因する下記のご注意が必要です。

### 1) シーリングのブリード汚染

とくにシリコンシーラントのブリードは低分子シリコンなので撥水性が高くてかつ光触媒で分解もされませんので、その部分がかえって撥水性になる可能性があります。ビルの窓ガラスの固定にはほぼ例外なくシリコンシーラントが使われているので注意が必要です。



## 2) トリの糞、昆虫の体液

これらは親油性の場合もあり、親水性の場合もありますので一概には断定できませんが親水性の落下物はいつまでたっても取れません。

## 3) さび汚れ

鉄道の近くではレールのもらいさびが発生しますがこれは鉄イオンという親水性の汚れなので余計に付きやすくなります。

## 4) 赤土の汚れ

赤土の色も鉄イオンによるものですから上と同じです。泥はねで壁面の腰壁部分がかえって汚れてくることがあります。

## 5) マジック等の落書き

一挙に付着した顕著な汚染を処理できるほどの機能は光触媒にはありません。



雨の煤煙汚れは雨という水と一緒に降ってくるので一般には親水性の汚れと勘違いされていますが煤煙という超親油性の微粒子が水と一緒に降ってくる奇妙な現象で未だに人工的には再現できていません。でも歴然と親油性の汚染物質であることには変わりがなく、光触媒のセルフクリーニング機能というものの実態は屋外においてはせいぜい「雨筋汚染を防ぐだけの現象」であるというのが正直な実態です。